

令和5年度 経営改革プラン

団体名	神戸市道路公社	
設立年月日	昭和46年4月21日	
団体の設立目的・沿革	道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、市内幹線道路の整備を促進して交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と経済の発展に寄与することを目的とする。	
団体の主な事業内容	事業名	所管局
	有料道路管理事業	自主事業
	駐車場管理事業	自主事業
代表者	理事長 三島 功裕	

役職員数 (令和6年7月時点)	理事・評議員		監事		職員		合 計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	1	-	-	-		2	3
神戸市派遣職員	1	1	-	-		33	35
神戸市OB職員	-	-	-	-	16		16
その他	-	-	-	2	5	-	7
合 計	2	1	-	2	21	35	61

財務状況 (単位：百万円)	令和5年度	令和4年度	差引
経常損益	1,788	1,778	10
税引後当期純利益	27	24	3
流動資産	7,303	6,355	948
流動負債	3,544	3,642	▲ 98
長期借入金 (固定負債)	14,648	15,141	▲ 493
期末現金預金残高	6,733	5,643	1,090

■中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	有料道路（六甲3路線、西神戸）、及び駐車場（荒田公園、三宮中央通、大倉山）建設事業費の着実な償還
ミッション②	安全・災害対策 ・安全・安心な道路を提供するための計画的かつ効果的な対策
ミッション③	渋滞対策など円滑な交通ネットワークの形成
ミッション④	経営の効率化

■短期的なミッション（令和5年度のミッション）

ミッション①	利用促進（需要喚起策の検討） ・新たな料金制度等の検討及び特に厳しい収支状況にある荒田・大倉山駐車場の利用促進
ミッション②	六甲3路線改築事業(R3~7年度)・長寿命化修繕計画の着実な実行
ミッション③	渋滞対策とアクセス強化に向けた事業スキームの検討
ミッション④	運営体制の最適化

■経営指標（令和5年度）

経営指標				令和4年度	令和5年度	前年度比増減
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	1.121	1.217	0.1ポイント
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	1.69%	1.87%	0.2ポイント
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	1.26%	1.25%	▲0.0ポイント
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	91.68%	81.48%	▲10.2ポイント
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	174.50%	206.10%	31.6ポイント
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	18.11%	17.97%	▲0.1ポイント
持続性	自己資本当期純利益率(ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているかか。	0.09%	0.10%	0.0ポイント
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産)/当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	0.09%	0.10%	0.0ポイント

■ ミッション工程表

ミッション名		令和5年度			令和6年度			令和7年度～					
中長期的ミッション													
有料道路（六甲3路線、西神戸）、及び駐車場（荒田公園、三宮中央通、大倉山）建設事業費の着実な償還 安全・災害対策 ・安全・安心な道路を提供するための計画的かつ効果的な対策 渋滞対策など円滑な交通ネットワークの形成 経営の効率化	利用促進策の検討、実施												
							荒田公園駐車場の移管						
	六甲3路線改築事業の実施（令和7年度完了）												
	新たな通行止め雨量基準の検証						運用開始						
		新神戸トンネル南伸部等事業化に向けた調査・検討、関係機関協議											
		箕谷第2駐車場用地の処分による財源の確保、民間資源を活用した経営の効率化											
ミッション名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション													
利用促進（需要喚起策の検討） ・新たな料金制度等の検討及び特に厳しい収支状況にある荒田・大倉山駐車場の利用促進	周辺施設の市場調査、利用実態調査、分析			新たな料金制度、利用促進検討			関係者協議			実施			
	令和4年度の調査結果を引き続き分析するとともに、周辺駐車場の料金調査・分析を行い、新たな利用料金制度の検討を行う。また、駐車場内案内サイン等の調査・分析や営業活動を継続して行い、利用促進策の検討を進める。有料道路についてもアンケート調査・利用促進策の検討や広報強化を行う。												
六甲3路線改築事業(R3～7年度)・長寿命化修繕計画の着実な実行		積算、照査			発注、入札、契約			工事					
渋滞対策とアクセス強化に向けた事業スキームの検討		R4年度の検討を踏まえ、引き続き神戸市及び関係機関と事業化に向けた事業スキーム検討の協議・調整											
運営体制の最適化		固有職員の採用／電子決裁の導入／給与事務委託／服務関係事務のDX化／法定点検時・路面性状調査における新技術の導入											

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	<p>目標 (できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)</p>	<p>①安全、安心、快適な有料道路及び駐車場を提供することで、市民福祉の増進と市内交通の円滑化に寄与するとともに、更なる道路ネットワークの形成や駐車場の利活用について、市と協力して対処していく。</p> <p>②有料道路事業で整備した施設の償還準備金の着実な償還を目指すべく、コロナ禍で減少した有料道路及び駐車場の利用台数を令和6年度までにコロナ禍以前の水準に回復させる。</p> <p>③監査体制・内容の強化と運営体制の効率化を図り、適正な業務執行を維持しつつ、最適な組織運営・体制づくりをめざす。</p>
	<p>①六甲3路線改築事業を設計、発注、工事と年度ごとに計画的に実行し、令和7年度に完了させる。また、既存施設の点検を令和5、6年度に実施し、修繕計画の更新を行い、長寿命化を図る。 道路管理の新しい技術を先進的に取り入れることで、技術力向上や迅速な災害対応に取り組み、より効率的で効果的な管理手法を確立し、市へ還元していく。 山麓バイパスの渋滞対策や都心部における円滑な交通ネットワーク形成を目指し、新神戸トンネル南伸部等の事業化に向けた検討を市と連携しながら推進していく。</p> <p>②有料道路における社会ニーズにあった新たな料金制度の検討や、収支状況の厳しい駐車場における利用促進に取り組むとともに、未償還額など経営状況を分かりやすく可視化してホームページに掲載するなど、丁寧な広報を行って説明責任を果たす。</p> <p>③DX化の推進による更なる事務効率化、令和4年度に体制及び内容を強化した監査の継続的な実施、民間活用等により組織運営の最適化を図る。</p>	

■ 市支援策の活用状況（令和5年度）

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	

■ ミッションの達成状況（団体自己評価）

（１）中長期的ミッションの達成状況

① 有料道路及び駐車場事業の着実な償還

有料道路事業で整備した道路や駐車場の着実な建設事業費の償還を目指すべく、道路・駐車場利用台数について、令和6年度（2024年度）にコロナ禍以前の水準（令和元年度（2019年度））に回復させることを目標に設定している。この目標に対し、令和5年度（2023年度）は有料道路及び駐車場ともに、コロナから回復してきており、荒田公園駐車場や三宮中央通り駐車場では、既に目標を達成した。

また、説明責任を果たすべく、令和5年3月に未償還額などの経営状況を可視化し、経営状況の検証を行い、公社ホームページで公表している。

【数値目標】

有料道路：令和5年度（2023年度）の1日平均通行台数はコロナ禍以前（令和元年度）の水準との比較で-1.3%だった。

駐車場：令和5年度（2023年度）の1日平均駐車台数はコロナ禍以前（令和元年度）の水準との比較で+6.8%だった。

有料道路：コロナ前（R元）水準:74,800台→R5:73,821台（-979台（-1.3%））

駐車場：コロナ前（R元）水準:1,480台→R5:1,580台（+100台（+6.8%））※箕谷除く

② 安全・災害対策

安全・安心・快適な有料道路の提供のため、六甲3路線改築事業を令和7年度（2025年度）完了を目指して実施していた。令和5年度（2023年度）は落石対策1斜面（16斜面のうち）、法面对策1か所（21か所のうち）の工事を完了した。また、改築事業における物価及び人件費の高騰や詳細設計による構造変更等への対応を検討した。

六甲3路線における通行止め基準雨量として、直近24時間累積雨量について安全かつ適正な基準雨量（現行基準200mm以上）の設定を目標としており、現在、令和6年度（2024年度）の運用開始を目指して検討を行っている。

【六甲3路線改築事業の年次計画】

内容	令和3～4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	合計
橋梁耐震補強	3橋		4橋	6橋	13橋
落石対策	1斜面	1斜面	7斜面	7斜面	16斜面
法面強靱化対策	6か所	1か所	7か所	7か所	21か所

KPI	六甲3路線における通行止め基準雨量
(数値目標)	直近24時間累積雨量：安全かつ適正な基準雨量の設定(現行基準200mm以上)

③渋滞対策など円滑な交通ネットワークの形成

慢性的に発生している山麓バイパス東行の渋滞について、県警協議のもと三宮出口交差点の信号現示の調整を行うことで、三宮出口及び生田川出口の渋滞を改善した。

さらに、新神戸トンネル南伸部の整備により、神戸空港・神戸港へのアクセスの強化や、広域的な道路ネットワークの形成による人流・物流の活性化、周辺一般道や高速道路出口等の渋滞緩和などの整備効果が期待できる。また、山麓バイパス東行きを新神戸トンネルに接続させることで、出口を増やすことができ、渋滞緩和に寄与すると考えられる。両事業の具体化に向けた取り組みとして、道路概略設計業務を神戸市より受託し、トンネル構造や線形などの検討を行った。

また、六甲北有料道路における渋滞の発生は、大沢料金所付近での年末年始やゴールデンウィーク等の周辺商業施設の繁忙期に限られており、渋滞が予想された場合は、事前に施設管理者と、来場者予想や警備員の配置計画、交通分散に関する来場者への周知等について調整を行い、また、実際に渋滞が発生した場合は、吉尾ランプ手前に標識車を配置し、利用者に吉尾ランプ出口経路を案内するなど、渋滞緩和に努めた。

④運営体制の最適化

・勤怠管理の電子化や電子決裁システムの導入などにより、総務事務の効率化に努めた。

・駐車場管理運営の受託事業者への事務監査回数を増やすなど、令和4年度（2022年度）に強化した監査体制を継続した。

・有期雇用からの転任制度を整備し、正職員化を図ることで、優秀な人材の確保を行い、組織の活性化やモチベーションの向上を図った。

これらの取り組みにより組織体制の最適化に努めた。

(2) 短期的ミッションの達成状況

①利用促進（需要喚起策の検討）

駐車場については、各駐車場の周辺施設（商店街など）へ営業活動の強化を行うとともに利用促進策の選定を行った結果、荒田公園駐車場の全日定期区分で実施している大口割引制度を平日昼間定期区分にも拡大し、大倉山駐車場では、新たに全日定期区分・平日昼間定期区分の大口割引制度を開始した。

また、道路については、近畿圏の4道路公社と連携したスタンプラリーや、道の駅と連携した大沢IC再入場割引の継続などを行い、利用促進に努めた。

さらに、デジタルサイネージの活用やきたきたまつり（北区役所主催）への出展等を通して、公社が管理する有料道路・駐車場についての情報発信にも積極的に取り組んだ。

②六甲3路線改築事業(R3～7年度)・長寿命化修繕計画の着実な実行

六甲3路線改築事業を令和7年度（2025年度）完了を目指して実施しており、令和5年度（2023年度）は落石対策1斜面（16斜面のうち）、法面对策1か所（21か所のうち）の工事を完了した。加えて、改築事業における物価及び人件費の高騰や詳細設計による構造変更等への対応を検討した。また、長寿命化修繕計画に基づき、令和5年度（2023年度）は橋梁3橋の補修を完了した。

③渋滞対策とアクセス強化に向けた事業スキームの検討

新神戸トンネル南伸部の整備により、神戸空港・神戸港へのアクセスの強化、広域的な道路ネットワークの形成による人流・物流の活性化、周辺一般道や高速道路出口等の渋滞緩和などの整備効果が期待できる。道路概略設計業務を神戸市より受託し、トンネル構造や線形などの検討を行った。また、公社として各種事業スキームの検討を行った。

④運営体制の最適化

・勤怠管理の電子化や電子決裁システムの導入などにより、総務事務の効率化に努めた。

・駐車場管理運営の受託事業者への事務監査回数を増やすなど、令和4年度（2022年度）に強化した監査体制を継続した。

・有期雇用からの転任制度を整備し、正職員化を図ることで、優秀な人材の確保を行い、組織の活性化やモチベーションの向上を図った。

これらの取り組みにより組織体制の最適化に努めた。

(3) 市政への貢献・市民への還元状況

- ・神戸市の安全かつ円滑な道路交通を確保するため、根幹となる幹線道路並びに都心部の駐車場を適正に維持管理している。
- ・災害時においては、道路整備特別措置法に基づき、神戸市と「災害時等における相互協力に関する協定書」を締結し、神戸三田線等の通行止めの際して、六甲北有料道路や山麓バイパスを適宜、無料開放できるよう、対応している。
- ・道路公社における、すべり止め効果のある多機能型排水性舗装や、事故等への迅速な対応が可能となるウェアラブルカメラや走行型計測技術の導入などにより、利用者の安全向上に寄与した。また、これら技術の知見を神戸市に還元することにより、市の道路管理の安全向上に貢献している。
- ・三宮中央通り駐車場に令和元年度より6台設置している、通常の駐車区画の1.5倍の幅を設けた「子育て応援駐車スペース」について、令和5年度には、神戸市の新たな子育て広報戦略である「こどもっとKOBE」のデザインカラーに変更するとともに、大倉山駐車場及び荒田公園駐車場についても、それぞれ4台分、新たに設置することで、子育て世帯の方が駐車場を快適に利用できるよう取り組んだ。
- ・コロナ禍で中断していた、市内在住又は在学中の小学生及びその家族を対象とした、体験型の公社施設等の見学イベント「ファミリー見学会」を再開し、市民や利用者への広報活動に取り組んだ。

■外郭団体マネジメント推進本部の評価

(1) 総合的意見

六甲3路線改築事業を着実に実施することで、防災機能の強化や道路利用者の安全性の向上が図られ、緊急輸送道路としての役割を果たすことができている。また、道路・駐車場の利用台数は、コロナ禍前に近い水準まで回復させるなど、利用促進の取り組みを計画的に行うことができている。一方、駐車場事業においては、大口割引制度の導入・拡充など利用促進策に取り組み一定の成果は見られるものの、荒田公園・大倉山駐車場の経営状況は依然厳しいものがあり、利用者目線に立ったさらなる利用促進策の検討が必要である。今後も建設事業費の着実な償還に向けて、一層の経営改善に取り組むとともに、引き続き、安全・安心なサービスの提供に努めること。

(2) 数値目標の状況

評価項目	評価・指導
中長期的ミッション	六甲3路線改築事業を着実に実施することで、防災機能・道路利用者の安全性の向上に取り組んでいる。また、市との連携を図りながら、円滑な交通ネットワークの形成に努めている。
短期的ミッション	道路・駐車場ともにさまざまな利用促進策の実施に取り組んでおり、駐車場においては、既に利用台数がコロナ禍前の水準を上回るものも見られる。しかし、荒田公園・大倉山駐車場の経営状況は依然厳しいものがあり、利用者目線に立ったさらなる施策の検討が必要である。また、電子決裁システムの導入などの事務の効率化や正規職員の雇用など運営体制の最適化に取り組むことができている。
団体目標の達成状況	市との連携のもと、安全・安心・快適な有料道路及び駐車場の提供に努め、市民福祉の増進と市内交通の円滑化に寄与している。また、有料道路及び駐車場の利用台数についても、数値目標に近づくなど、令和5年度の団体目標については概ね達成できており、着実に建設事業費の償還に取り組んでいる。
市への貢献・市民への還元状況	六甲有料道路及び山麓バイパスなど、市街地と西神・北神地域を結ぶ幹線道路を適切に維持管理することで市民生活に貢献している。また、災害時における六甲有料道路等の無料開放といった社会的役割も果たしている。 駐車場においては、「子育て応援駐車スペース」を増設し、子育て世帯の利用者の利便性向上を図っている。 さらに、道路公社で先進的に取り入れた技術の知見を、神戸市に還元することにより、神戸市管理道路の安全向上に寄与している。

(3) 今後の方向性

- 団体の存廃も含めた検討を要する団体
 継続的な見直しを要する団体
 取り組みが着実に実施され成果が上がっている団体